

第6次幸手市総合振興計画 若者サミット 記録

平成30年4月21日(土)

10:00 ~ 12:00

1. オリエンテーション

- ・①総合振興計画の役割、②市の現状、③市民意識調査の結果 の3つの項目について、市より情報提供を行いました。

2. グループワーク1 幸手市の良い点・問題点、今後必要な取り組みを考えよう

- ・現在の幸手市の良い点・問題点を検討した上で、今後必要な取り組みを考えました。
- ・グループワークは2班に分かれて行いました。

【主な検討結果】

まちの良い点	まちの問題点
・自然が豊かで、権現堂公園という資源がある ・アスカルやウェルスなどの公共施設がしっかりしている ・子育て支援がしっかりしている ・商業施設が揃っており、住みやすい ・圏央道周辺に企業の立地が進んでいる ・国道4号線があり、南北のアクセスが良い ・幸手ICがあり、遠くに行きやすい ・地域のつながりがある	・中心市街地に元気がない ・駐車場が少なく、まちに立ち寄れない ・交通渋滞がひどい(特に桜まつりの時期) ・歩道がない道路があり、特に子どもは危ない ・公立の子育て施設の設備が不十分であるイメージや、学力が低いイメージがあり、幸手市の子育て環境に不安がある ・飲食・介護・製造業の求人は多いが、事務やSEなどの求人がない ・地域づくりの活性度は地域によって差がある ・立ち寄れる場所・集える場所が少ない



今後必要な取り組み
・オリンピック効果を受け止めた民泊受け入れ等、機会を逃さない ・学生が幸手に定住したいと思うような魅力づくり ・子育て世代が地域づくりのキーパーソンになり、困った時に頼りになる地域をつくる ・地域の資源である日本保健医療大学と協力し、医療が充実した、安心できるまちをつくる ・高齢者が安心して集い、若者との交流も出来る場所づくり ・安心して子どもを産み育てられる環境をつくる

3. グループワーク2 10年後、幸手市がめざすべきまちの姿を考えよう

- ・グループワーク1の検討内容を踏まえ、幸手市がめざすべきまちの姿を検討しました。
- ・グループワークは2班に分かれて行いました。

【主な検討結果】

「めざすべきまちの姿」のイメージ	
・地域とつながる医療のまち	・学生でにぎわい、学生が誇りを持てるまち
・人がまちに出てくるまち	・若者が住んでいて楽しいまち
・全世代が楽しく安全に暮らせるまち	・高齢者が活躍できるまち
・市民参加型でふるさとに愛着を持てるまち	・高齢者が安心して在宅で暮らせるまち



グループワークの様子



発表の様子